

報告書抄録

ふりがな	ひえだがわいせきだい5ちてん							
書名	稗田川遺跡第5地点							
副書名	アパート建築（横代北町三丁目）に伴う埋蔵文化財調査報告							
巻次								
シリーズ名	北九州市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第635集							
編著者名	安部和城							
編集機関	（公財）北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室							
所在地	〒803-0816 福岡県北九州市小倉北区金田一丁目1番3号							
発行年月日	2025年3月31日							
所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村遺跡番号		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
ひえだがわいせき 稗田川遺跡 第5地点	ふくおかけんきたきゅうしゅうし 福岡県北九州市 こくらみなみくよこしろきたまち 小倉南区横代北町	40100		36° 50' 01" .49	139° 43' 29" .25	20221006 ～ 20221028	184㎡	アパート建築 （横代北町三丁目）
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
稗田川遺跡 第5地点	集落跡	古墳 古代	竪穴建物 土坑 溝 柱穴 包含層 旧河道		縄文土器 須恵器 土師器 石器		古墳時代中期の集落跡	
要約	本遺跡は、横代北町三丁目に位置しており、調査では竪穴建物1棟、土坑2基、溝7条、柱穴31基を検出した。これらの遺構は、年代が明らかになったもののほとんどが古墳時代中期（5世紀代）に形成されたもので、この結果は対岸の既存調査とも整合する。また、竪穴建物の使用・埋没時期や、遺物包含層の堆積時期が5世紀代に収まることから、旧稗田川の河道が古墳時代中期には収束・周囲の陸地化が進行し、集落形成が可能な土地に変化したことを示している。 この他、1号溝や遺物包含層最上層からは古代に比定される遺物が出土していることから、陸地化後の古代段階での新たな開発状況が想定される。							